

活気と活力に満ちた魅力あふれるまち

基本目標

5

産業・経済

【ゆたかさの施策】

施策

5-1-1

農業の生産・経営基盤の確立

目的

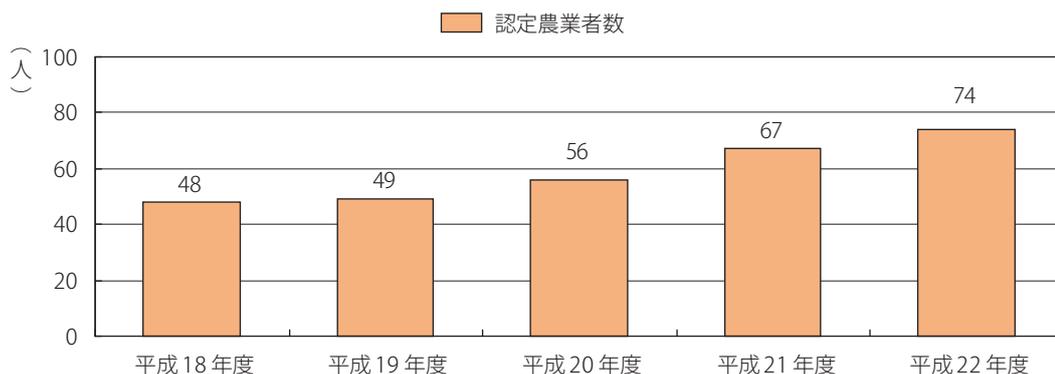
農業生産基盤が確立され、安定かつ持続可能な農業経営が行えること。

現状と課題

- ・ 食の安全性や食料自給率の向上などの市民ニーズが高まるとともに、非常時の食料確保の観点からも、農業生産基盤の強化や*地産地消の推進が求められています。
- ・ 市内各地区では、それぞれの立地条件を生かし、ナス、キュウリやトマトの施設型農業、米・麦などの土地利用型農業、梨・ぶどうなどの果樹の*観光農業や*花き生産が行われていますが、農家数・*農業就業人口・農地面積は年々減少しており、農業離れや農地転用も進んでいます。
- ・ 魅力ある農業を継承していくためには、生産性を向上させ、環境や健康に配慮した付加価値の高い農産物や新品種の積極的な導入を図るなどの多角的で実効性のある農業を振興するとともに、農地の集積や経営規模の拡大、農道・用排水路などの整備および既存施設の維持管理が不可欠です。
- ・ 農業後継者や地域農業生産の中心的な担い手となる*認定農業者の育成が重要であり、新たに農業を志す人たちのためにも、魅力ある農業環境づくりや人材の育成体制を充実する必要があります。

■施策に関する参考情報

【認定農業者数の推移】



■施策の方向性

□農業生産基盤の整備

- ・ 農業基盤の整備と農業の振興を図るため、狭あいな農道の拡幅整備や用排水路の整備を行うとともに、農業用廃棄物の適正処理に対する支援により、自然環境に配慮した生産基盤や生活環境基盤づくりに努めます。

□優良農地の保全・活用

- ・ 良好な農業環境を維持するため、*農地の流動化・集積化を促進し、優良農地の保全と活用を進めます。
⇒成果指標①
- ・ 農地の無断埋立や違反転用に対し、県と連携して指導の強化に努めます。

□農業経営への支援

- ・農地の有効活用を図り、農業経営の規模拡大を推進するため、農地流動化奨励補助制度（* 利用権の設定）や* 農地利用集積円滑化団体の利用促進により農地の流動化を図ります。
- ・各種農業経営者向けの融資制度を利用した農業経営に必要な施設・機械などの購入を促進し、農業経営の近代化に努めるとともに、農業団体の活動を育成・支援し、合理的かつ安定的な農業経営の確立を図ります。⇒成果指標②

□農業の担い手の育成・確保

- ・認定農業者の支援、農外からの新規参入者が確実に就農できる就農直結型の「* 明日の農業担い手育成塾」の設置および未就学児と小・中学校の児童生徒による農業体験の実施を通じた農業後継者育成などにより、地域の農業生産の担い手の確保を図ります。⇒成果指標③
- ・農業を補助・体験できる「* 農業ヘルパー制度」により、農業にふれあう場を提供し、担い手の確保に努めます。

□農産物・加工品のブランド化と技術向上への支援

- ・消費者ニーズにあった農作物の栽培、出荷、品質向上を目指す農業者を支援するとともに、農産物や加工品の付加価値を高め、農業収入の増加を図るため、産地化・ブランド化を促進します。
- ・春日部農林振興センターなどの関係機関の協力を得ながら、先端技術の導入や付加価値の高い農産物および病害虫などに強い品種の導入を促進するとともに、先端技術に関する情報収集や農家への情報提供に努めます。

■成果指標

成果指標	現状値	目標値
① * 遊休農地の面積	1,100a (平成 23 年度)	750a (平成 29 年度)
指標値の根拠	年間 70a の遊休農地解消を目標とします。	
② * 家族経営協定数	40 世帯 (平成 23 年度)	70 世帯 (平成 29 年度)
指標値の根拠	認定農業者の 7 割を家族経営協定数の目標とします。	
③ 認定農業者数	74 人 (平成 23 年度)	100 人 (平成 29 年度)
指標値の根拠	認定農業者に対する支援策の充実により、年間 5 人程度増やすことを目標とします。	

■市民・地域の協力

- ・市民が地域で生産される農産物を積極的に食することが望まれます。

■主な事業

事業名	事業内容
農地流動化奨励補助金	・農地の有効利用を図るため、農地を集積し経営規模の拡大を目指す認定農業者に対して補助を行います。
園芸産地育成事業費補助金	・消費者ニーズにあった農作物の栽培、出荷、品種向上を目指す農業者に、種苗・防除薬剤などの共同購入に対して補助を行います。
明日の農業担い手育成塾設置事業	・農業の担い手を確保するため、農外からの新規参入者が確実に就農できる就農直結型の「明日の農業担い手育成塾」を設置します。
農業用施設適正化事業	・老朽化した土地改良施設に対し、計画的な改修更新を実施します。
農道整備事業	・大型機械の搬入や運行を良好にして農業の生産性の向上を図るため、狭い農道を拡幅整備します。
用排水路整備事業	・用水の安定供給と排水におけるほ場の乾田化を図るため、用排水路の整備および維持管理を行います。
農地集積対策事業	・地域農業のあり方や今後の地域の中心となる経営体などを定めた「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」を作成します。
新規就農総合支援事業	・「人・農地プラン」に位置付けられた、就農初期段階の青年就農者に対し、青年就農給付金（経営開始型）を支給します。

■個別計画

- ・春日部市農業振興地域整備計画

施策

5-1-2

地域の農業振興と消費拡大

目的

新鮮で安心・安全な農産物を購入でき、農業への理解が深まること。

現状と課題

- 平成23年度市民意識調査結果によると、市内の農産物直売所（市内スーパーでの販売などを含む）を利用し地元農産物を購入している人の割合は約7割となっていますが、時期によっては農産物の供給が難しいことがあり、消費者ニーズに応えることができるよう安定的な経営を確立することが求められています。
- 平成23年の福島第一原子力発電所事故を受けて、*放射性物質の農産物への影響を心配する市民の声を背景として、安全性をPRする必要性が高まっており、新鮮で安心・安全な地元農産物の生産状況や消費状況を市民が理解できるような情報提供の工夫が必要です。
- さらなる*地産地消を進めるため、農産物直売所などの充実を図り、生産者と消費者の顔の見える地域密着型農業を推進していく必要があります。

■施策に関する参考情報

【農業祭】



■施策の方向性

□地産地消ネットワークの確立

- ・地産地消を推進するために、農産物直売所の充実を図るとともに、⇒**成果指標①**地元農産物の充実、生産ルートの構築、農産物直売所や観光農園、庭先直売などに関するわかりやすい情報提供を行い、市民の購買意欲を高めます。⇒**成果指標②**
- ・市が地元農産物を買上げて事業者にサンプル提供するなど、新たな商品開発を促進し、地産地消・消費拡大につなげます。

□新鮮で安心・安全な地元農産物の提供

- ・農業祭や産業祭などのイベントを通して、生産者と消費者の互いの顔が見える農業を促進することで、地元農産物が新鮮で、安心・安全であることをアピールするとともに、農産物直売所などを通して地元農産物を提供することで、食への関心を高めます。⇒**成果指標②**
- ・梨・ぶどうなどの果樹産地の*観光農業の充実を図るため、機械、施設などの整備を支援して、地域特産物の生産向上を図ります。

■成果指標

成果指標	現状値	目標値
① 農産物直売所農家数	52戸 (平成23年度)	57戸 (平成29年度)
指標値の根拠	高齢化に伴い、廃止される直売所もある反面、新規就農者の育成にも力を入れていくため、廃止と新規登録者の差し引き年間1戸程度増やすことを目標とします。	
② 地元農産物を購入している市民の割合 (市民意識調査)	67.8% (平成23年度)	75% (平成29年度)
指標値の根拠	市内農産物に関するより一層の情報提供、および安心・安全であることのアピールにより、5年後に現状値より1割程度増やすことを目標とします。	

■市民・地域の協力

- ・市民が地域の農業に触れる機会を増やすことが望まれます。

■主な事業

事業名	事業内容
農業振興事務	・農業に関心を持ってもらい、地元農産物の消費拡大と生産技術の向上を図るため、農業祭の委託、農業振興審議会の開催などを行います。
果樹産地整備総合支援事業費補助金	・果樹産地における経営安定と観光農園の充実のために、新しい品種への取組や規模拡大の推進および施設などの整備に対する補助を行います。
産業祭実施事業補助金	・農業・商工業の関心を高め地産地消を推進するため、産業祭の開催に伴う事業費などに対して補助を行います。
農産物紹介事業	・地元農産物の価値を高めるため、*認定農業者から市が直接購入した農産物を事業者へ食材などとしてサンプル提供を行い、新たな商品開発・消費拡大につなげます。

施策

5-2-1

活力ある工業の基盤づくりへの支援

目的

工業者の経営が安定化し、*地場産業や伝統工芸が活性化すること。

現状と課題

- ・ 工業の振興は、雇用機会の確保や市の財源確保につながり、地域社会に活力をもたらしますが、産業の*グローバル化の進行による世界規模での競合の激化や、人口減少・高齢者の急激な増加による国内市場の変化など、地域産業を取り巻く状況は厳しさを増しています。
- ・ 本市には桐たんす、桐箱、押絵羽子板、麦わら帽子などの伝統工芸品があり、地域の文化であるとともに重要な財産ですが、いずれも後継者不足が深刻化しており、伝統工芸技術を次世代に引き継ぐための支援や特産品の振興・販売促進、経営基盤の強化が必要です。
- ・ 市内製造業の大半を占める中小企業の経営安定と振興を図るため、融資制度を充実するなど経営基盤強化のための支援を行うとともに、技術力および競争力の向上による工業の振興と雇用機会の拡大を図っていく必要があります。また、春日部商工会議所や庄和商工会などの商工団体と連携して、既存企業の経営支援や人材育成支援、競争力強化支援などの振興策を推進することも必要です。

■施策の方向性

□既存企業の産業競争力強化のための支援

- ・ 埼玉県産業技術総合センターや大学などと連携した産学官による研究・開発、相談体制の確立を図り、企業の技術水準向上を促進します。

□中小企業の経営支援の充実

- ・ 県や商工会議所・商工会などと連携した工場経営診断の実施や各種セミナーを充実し、経営改善を促進するとともに、中小製造企業に対する融資制度の活用・充実、国・県の融資制度の活用促進により、収益性の高い生産体制の確立を促進します。⇒成果指標①・②・③

□中小企業を担う人材育成

- ・ 商工会議所・商工会の指導活動の支援や人的ネットワーク形成の場づくりを行い、既存企業の育成、後継者グループの活動に対する支援・育成、異分野・異業種交流を促進します。

□地場産業および伝統工芸への支援

- ・ 特産品の普及と振興を図るため、特産品展示会やかすかべ商工まつり、観光事業などを通して、特産品販路の一層の拡大と伝統産業のPRを行うとともに、後継者育成の支援、消費者ニーズに対応した商品づくりのための研修会や新商品開発のための事業を支援します。

■成果指標

成果指標	現状値	目標値
① 工場（製造業）数	257 事業所 （平成 22 年度）	260 事業所 （平成 29 年度）
指標値の根拠	年々減少傾向が続いているため、中小企業の経営支援や人材育成を図ることにより、数値の減少を止め、現状値を上回ることを目標とします。	
② 工場（製造業）における従業員数	5,839 人 （平成 22 年度）	5,840 人 （平成 29 年度）
指標値の根拠	年々減少傾向が続いているため、中小企業の経営支援や人材育成を図ることにより、数値の減少を止め、現状値を上回ることを目標とします。	
③ 製造品出荷額等	1,408 億円 （平成 22 年度）	1,410 億円 （平成 29 年度）
指標値の根拠	年々減少傾向が続いているため、中小企業の経営支援や人材育成を図ることにより、数値の減少を止め、現状値を上回ることを目標とします。	

■市民・地域の協力

- ・市民が地域の特産品に触れる機会を増やすことが望めます。

■主な事業

事業名	事業内容
かすかべ商工まつり開催事業	・市内で生産・販売されている優秀製品を展示・紹介し、市内の商工業者とコミュニケーションの場を提供します。
小規模事業推進費補助金	・小規模事業者の振興および安定を図るため、経営相談および指導などを実施する春日部商工会議所中小企業相談所に対し補助を行います。
特産品協議会補助金	・市内の特産品の普及育成および販路拡大を図るため、春日部市特産品協議会が実施する事業に対し補助を行います。

施策

5-3-1

中心市街地における活力ある商店街の形成

目的

中心市街地の商店街が市内外の消費者でにぎわうようにすること。

現状と課題

- ・平成23年度に実施した市民意識調査結果によると、中心市街地が快適で便利だと思う人の割合は4割未満であり、魅力的な商店街の整備が求められています。
- ・中心市街地を活性化するために、春日部* TMOの組織の強化とその活動の支援を行うとともに、大規模商業施設と既存小規模商店が共存・共栄するためのイベントの連携や店舗同士のタイアップを促進することなどが必要です。
- ・中心市街地に人を呼び込むための方策として、市民や事業者主体のイベントを支援するとともに、中心市街地のPRや情報発信を積極的に行っていくことが求められています。

■施策に関する参考情報

【JAZZDAY かすかべ】



■施策の方向性

□中心市街地活性化による活力ある商店街の形成

- ・TMOを中心にイベントなどを開催し、多目的に長時間楽しく過ごせる商店街を形成することにより、消費拡大と商店街の活性化を図ります。⇒**成果指標①**

□回遊性の向上

- ・TMOとの連携をさらに密にするとともに、商店街、商業者などの一体的な取組を支援し、集客核などを結ぶ商店街の魅力を高め、中心市街地における歩行者の回遊性の向上を図ります。⇒**成果指標②**

□中心市街地に関する情報発信

- ・TMOや地元商店街がホームページなどを活用して、中心市街地における商店街活性化の取組、店舗や各種サービス、イベントなどについての情報を積極的に発信していくことを支援するとともに、市ホームページや広報でPRしていきます。

□地域力アップのための民間提案の支援

- ・春日部市の地域活性化を促進するため、個性あふれる独創性と先駆性がある事業に対し、支援します。

■成果指標

成果指標	現状値	目標値
① イベントの来場者数（ジャズデイかすかべ、粕壁エイサーまつり、かすかべ音楽祭「まちかどコンサート」）	25,600人 （平成23年度）	29,000人 （平成29年度）
指標値の根拠	現状値の10%増加を目標とします。	
② 中心市街地（春日部駅周辺）の歩行者数	2,501人 （平成23年度）	2,580人 （平成29年度）
指標値の根拠	春日部駅付近（3カ所）における平日8時間（午前9時から午後5時まで）の歩行者数の3%増加を目標とします。	

■市民・地域の協力

- ・市民が春日部駅周辺での買い物積極的にすることが望めます。

■主な事業

事業名	事業内容
商業タウンマネジメント構想推進事業費補助金	・中心市街地の活性化を推進するため、春日部TMOが春日部市商業タウンマネジメント構想に基づき実施する事業に対し、その一部を補助します。
地域力アップ提案事業補助金	・地域の活性化に資する事業の提案を募集し、優秀な提案に対して補助金を交付し、事業化を支援します。

施策

5-3-2

歩いて楽しめる商業環境の整備

目的

地域住民が生活に必要なものを身近で購入できるようにすること。

現状と課題

- ・市民の消費購買行動の動向によると、食料品や日常生活品については市内で購入する人が大半を占めています。しかしながら、駐車場などの環境が整備されていない所が多く、買い物客の利便性の向上が重要な課題となっています。
- ・地元商店街の集客を図るため、駐車場の整備や*バリアフリー化など、消費者が安心して買物ができる環境づくりが不可欠です。
- ・食料品や日常生活品を購入するために訪れる消費者が、家電製品や耐久消費財など、多彩な商品を購入する志向を持てるような、魅力あふれる商業空間の整備や地元商店街の活性化を図るための取組を支援する必要があります。また、大規模な事業者と連携して市のイベントを実施し、市外から人を呼び込むことが必要です。

■施策の方向性

□魅力ある商業環境の整備

- ・商店街の活性化のため、共同駐車場や街路灯、*ショッピングモール化などの整備を支援するとともに、都市整備事業と連携しつつバリアフリー化、歩道へのベンチの設置など、消費者が安心して買い物を楽しめる環境づくりを促進します。⇒成果指標①・②

□特徴を生かした魅力ある商店街の形成

- ・地元農産物や*地場産業、伝統工芸などを活用し、地域の特性を生かした魅力ある商店街の形成を図るとともに、イベント開催や特産品の販売、「頑張る商店」の紹介などを通し、集客数を増加させて「にぎわいのある街づくり」を目指します。⇒成果指標①・②

□空き店舗の有効活用による活性化

- ・商店街にみられる空き店舗について、人々が集える施設などとして有効活用しようとする商店会などの取組を支援することにより、商店街の活性化を図ります。

□大型店舗との共存

- ・地元商店街と大型店舗とが共存するための環境づくりや経営指導などの支援を図ります。

□小規模事業者の経営支援

- ・小規模事業者の経営に資する経済情勢に即した各種セミナーを充実するとともに、経営安定化のための融資制度の利用促進を図ります。

□商工団体の支援

- ・商工業者の経営改善の充実を図るため、商工会議所や商工会などの活動を支援するとともに、市内で生産・販売されている優秀作品を展示し、商工業者と市民のコミュニケーションの場を提供します。

■成果指標

成果指標	現状値	目標値
① 食品・飲料や日用・家庭雑貨を主に市内で購入する市民の割合（彩の国広域消費動向調査）	90.6% （平成 22 年度）	91% （平成 27 年度）
指標値の根拠	数値の減少を止め、現状値を上回ることを目標とします。	
② 被服や寝具、肌着を主に市内で購入する市民の割合（彩の国広域消費動向調査）	73.4% （平成 22 年度）	80% （平成 27 年度）
指標値の根拠	数値の減少を止めるとともに、大規模小売店舗のオープンによる影響も考慮し、80%を目標とします。	

■市民・地域の協力

- ・市民として地元の商店街に愛着を持ち、積極的に買物を行うなどのかかわりが望まれます。

■主な事業

事業名	事業内容
商店街活性化推進事業費補助金	・ 商店会の発展および活性化を図るため、各商店会が実施する活動費の一部を補助します。
商店街事業活動費補助金	・ 商店街の研究活動および事業活動を促進するため、商店街の運営に係る指導を行う春日部商工会議所および庄和商工会に対して補助を行います。

施策

5-4-1

新たな地域産業の創出と雇用の拡大

目的

地域の特性を生かした新産業が創出され、市民が安心して働き続けられるようにすること。

現状と課題

- ・近年、労働力人口が減少に転じており、地域の雇用を促進するためにも、広域交通網整備と連携した工業施設の立地誘導など、工業の振興施策が必要です。
- ・既存産業の構造変化が進むなかで新しい産業が期待されていますが、本市においても新規産業の積極的な誘致、企業育成のための基盤整備や成長性の高い新規産業の創出に向けた支援・情報提供などの施策づくりが課題です。その一方で、桐たんすなどの特産品を、現在の*ライフスタイルに合うように開発しPRする必要もあります。
- ・*核家族化の進展や共働き世帯の増加に対応し、だれもが働きやすい環境づくり、育児や介護などの面で就労を支援する制度の整備が重要となっています。
- ・健康で安心して働けるよう、勤労者の余暇時間の充実や生活の質的向上への支援、心身に関する相談体制の確立などの制度強化にも取り組んでいく必要があります。

■施策の方向性

□産学官の連携

- ・企業や大学・研究機関などのネットワークを構築し、今後成長が見込まれる産業を創出・育成します。

□起業に向けた支援の充実

- ・起業家に対し、各種制度融資や支援機関などの情報提供に努めます。

□農・工・商・観光が結びついた特産品の開発

- ・農協や商工会議所・商工会などの関係機関と連携し、地場産品を生かした特産品の開発を促進します。また、*道の駅での販売や各種イベントで特産品のPRを兼ねた展示・販売を行うなど、販路の拡大を支援します。

□優良企業の誘致

- ・自然環境と生活環境に配慮しつつ、新たな企業の誘致に取り組むとともに、市内企業の事業拡大や市民の雇用の促進を図ります。⇒成果指標①
- ・国道4号バイパスや国道16号などの良好な交通条件を生かすとともに、道路・排水路などの産業立地に必要な基盤整備を推進し、土地利用構想に位置づけられた産業集積ゾーン内への民間開発型による工業・流通系の優良企業の誘致に努めます。⇒成果指標②

□就労支援の充実

- ・公共職業安定所や県と連携し、雇用情報の提供、雇用相談などを充実・強化し、若年層、高齢者、障がい者、女性、外国人就労者といった多種多様なニーズを持った人々に対応可能な就業支援体制の確立に努めます。

□勤労者福祉の向上

- ・勤労者の*メンタルヘルスケアの充実や勤労者の職業能力向上に役立つ講習会などの開催、各種サークルやボランティア活動団体の育成・養成・情報提供などに努めるとともに、雇用者の労働条件などを把握するため、総合的な労働実態調査を検討します。
- ・「中小企業退職金共済・掛金補助制度」などの共済制度の普及や住宅資金融資制度の充実に努めます。

■成果指標

成果指標		現状値	目標値
① 市内で働く市民（国勢調査）		49,316人 （平成22年度）	50,000人 （平成27年度）
指標値の根拠	大規模小売店舗のオープンによる影響も考慮し、50,000人を目標とします。		
② 企業誘致奨励事業利用企業数		4件 （平成23年度）	9件 （平成29年度）
指標値の根拠	企業誘致奨励事業を利用する企業について、年間1件程度増やすことを目標とします。		

■市民・地域の協力

- ・市民の力で地域の雇用を守るようなサークルやボランティア活動への参加が望まれます。

■主な事業

事業名	事業内容
勤労者会館運営事業	・ 勤労者とその家族の教養を高め、地位の向上と福祉の増進を図るため、定期講座・短期講座の実施、サークル活動のための施設提供、作品展示会の実施などを行います。
労政事務	・ 社会変化に適応できる勤労者を育成する講座を開催するとともに、雇用促進を図るために関係機関との連携を深め、雇用関係全般の安定を実現します。
企業誘致奨励事業	・ 庄和インター周辺部を中心とした産業指定区域に工場などを新設する企業に対して奨励措置を講じることにより、企業誘致を推進し、産業の振興および雇用機会の拡大を図ります。

施策

5-4-2

観光資源の魅力向上と情報発信

目的

多くの人を訪れ、魅力ある観光資源を楽しめるようにすること。

現状と課題

- 本市の代表的な観光資源である「春日部夏まつり」、「大風あげ祭り」、「春日部藤まつり」には、例年、あわせて約40万人以上の観光客が訪れ、恵まれた河川環境や緑地空間、各種の観光イベントを持つ本市は、観光拠点としても高い可能性を有しています。
- 観光産業の発展により*交流人口が増加し、将来的には移住者の促進につなげるべく、大きな集客力を有するイベントの存在を生かすなど、既存の拠点施設を活用したネットワークの整備が課題となっています。
- 年間を通して来訪してもらえるような新たな観光資源の発掘・育成を図るとともに、観光で訪れたことのある人にまた訪れてもらえるような取組や、観光で訪れたことのない人に対して訪れてもらえるように市の魅力を伝えることも必要です。
- 本市には、世界的なアニメキャラクターであるクレヨンしんちゃんをはじめ、さまざまな地域ブランドとなる可能性を秘めた地域資源が存在しています。これらの素材を効果的に活用し、情報発信をしていく必要があります。
- 全国各地では、地域にある魅力を見出し、商品に付加価値をつけ、地域外からヒトやモノを呼び込む活性化策が有効であるという認識が高まっています。本市には、長い歴史を誇る伝統工芸品をはじめ、地域に根づいた商品があるものの、知名度が高いとはいえない状況であるため、春日部産の商品を地域ブランドとして展開していくことが求められています。
- 全国大会で優秀な成績をおさめている中学校吹奏楽部、合唱部や地元の音楽家が出演する音楽祭とあわせ、春日部*TMOが同時開催するまちかどコンサートは好評を得ています。今後は、市外からも多くの人を訪れてもらえるような魅力的な音楽祭を企画していく必要があります。

■施策の方向性

□観光推進体制の確立・強化

- 「春日部夏まつり」、「大風あげ祭り」、「春日部藤まつり」などの既存観光資源の振興を図るため、効果的なネットワークの形成や支援に努めるとともに、観光協会の組織強化、農業・商業などの連携による全市的な観光推進体制の確立、市民参加による観光まちづくりを推進します。⇒成果指標①

□観光資源の魅力向上

- 観光資源を展示するだけでなく、体験できるような工夫をすることにより、魅力向上を図ります。⇒成果指標②

□新たな観光資源の発掘

- 本市を訪れた観光客が継続的に本市に訪訪していただけるよう、年間を通して楽しめる新たなイベントの創出や観光スポットの発掘に努めます。

□観光拠点のネットワーク化

- 市の文化施設や周辺地域を含め、広域的な観光拠点のネットワーク化による観光ルートの開拓・充実に努めます。⇒成果指標③

□観光情報の充実

- 観光パンフレットへの市内各地区で開催される行事や商工業に関する情報の記載や、*道の駅などの広域交流施設において各種観光拠点や観光ルートの案内を行うなど、周辺地域を含めた観光情報の提供に努めます。

□映画のロケーションなどの誘致促進

- ・市内の名所などを撮影場所とする映画やテレビCMなどを積極的に誘致し、市をアピールするとともに、地域経済・観光・文化の向上に努めます。

□地域力アップのための民間提案の支援（再掲）

- ・春日部市の地域活性化を促進するため、個性あふれる独創性と先駆性がある事業に対し、支援します。

□地域製品のブランド化と情報発信

- ・「春日部らしさ」を持つ優れた食品を「かすかべフードセレクション」として認定し、情報発信や販売促進をすることにより、春日部市の食のブランド化を図り、地域経済の活性化に努めます。
- ・「まちの案内人」であるクレヨンしんちゃんを効果的に活用し、本市のさまざまな地域資源を市内外へ広くPRします。

□かすかべ音楽祭

- ・春日部市で活躍する音楽家や音楽団体を、市内外に広くPRする機会を設けるとともに、他の音楽イベントと一体的なPRを展開することで、さまざまな音楽を楽しめるまちを演出します。

■成果指標

成果指標	現状値	目標値
① イベント来場者数（春日部夏まつり、大凧あげ祭り、春日部藤まつり）	455,000人 （平成23年度）	455,000人 （平成29年度）
指標値の根拠	本市を代表するイベントであり非常に多くの人々が訪れていることから、盛大にイベントを開催していくことにより、平成23年度に達成した455,000人を目標とします。	
② 観光施設（*龍Q館）の入館者数	32,249人 （平成23年度）	34,000人 （平成29年度）
指標値の根拠	龍Q館の中で、市が運営している展示室などの施設について、これまでの最多来場者数を目標とします。	
③ 観光ルート数	22ルート （平成23年度）	25ルート （平成29年度）
指標値の根拠	新たな観光ルートの開発などにより、3ルート増やすことを目標とします。	

■市民・地域の協力

- ・市民参加による観光まちづくりを推進することが望まれます。

■主な事業

事業名	事業内容
まちなか魅力発見観光ガイド事業	・市の魅力をPRするための春日部市内の名所などのガイドや観光ガイドマップの作成・配布を行います。
春日部情報発信館運営事業	・観光・イベント・市政情報などを発信する春日部情報発信館「ぶらっとかすかべ」の運営業務を行います。
大凧あげ祭り実施事業	・春日部市大凧あげ祭りの企画・運営、各種式典の開催、飛揚会場設営・運営および全国凧揚げ大会を実施します。
大凧啓発推進事業	・春日部市のPRを図るために、大凧あげ祭りの啓発活動を行うとともに、新春凧あげ祭りを開催します。
地域力アップ提案事業補助金（再掲）	・地域の活性化に資する事業の提案を募集し、優秀な提案に対して補助金を交付し、事業化を支援します。
かすかべフードセレクション推進事業	・春日部市の優れた食品を「かすかべフードセレクション」として認定する仕組みを構築し、認定した産品を市内外に広くPRすることで、地域ブランドの構築を図ります。
シティセールス推進事業	・クレヨンしんちゃんや優れた音楽文化など、本市の持つさまざまな魅力を市内外に広くPRすることで、春日部ならではの地域ブランドを構築し、市のイメージアップを図ります。

